

阿蘇の草原をテーマにした環境教育用教材づくり実施計画

環境省九州地区自然保護事務所

1. 教材づくりの目的

草原の保全・再生に向けては、幅広い層に阿蘇の草原の現状やその保全・再生への理解と協力を得ていくことが必要となるが、今年度は、次世代を担う子供たちに少しでも阿蘇の草原に関心を示してもらうため、学校教育の現場で活用してもらえる教材づくりを進める。

2. 教材の目的と対象

地元関係者の話によると、阿蘇の将来を担う子供たちはいま、阿蘇に住んでいながらも草原と触れ合う機会が殆どなく、それとともに日常生活の中で草原を意識することも少なくなりつつあり、また、子供たちを教育する学校においても、教師たち自身の草原への関心の低さや知識不足もあり、授業の一環として草原が取り上げられたり、草原が学習のフィールドになったりすることが珍しくなったという。しかし、長い歴史と多様な価値を持つ阿蘇の草原は、子供たちの学習の場として最適であり、もっと活用していくべきだといえる。

また最近では、観光施設・名所旧跡巡りが主流であった修学旅行が、参加・体験型、環境学習型といった形態に変化しつつあり、「事前学習」が欠かせない要素となっている。阿蘇においても体験型の修学旅行を受け入れてはいるものの、関係者からは、阿蘇全体を知るための事前学習用の資料がないとの声も聞かれる。

こうした現状を踏まえ、今年度は、まず、阿蘇に住む子供たちと子供たちを教育する先生に阿蘇の草原を知ってもらうための教材と、阿蘇に目的をもって訪れる特に修学旅行生たちへのよりよい情報提供のための教材づくりを進めることとする。

阿蘇に住む子供たちに草原に興味をもってもらうために…

“子供向け草原カレンダー” 「(仮称)あそのへえ～」

草原と触れ合う機会が少ない阿蘇の子供たちが、草原に少しでも目を向け、何か知りたいたいと思うきっかけづくりになると同時に、阿蘇の草原のすごさや、草原が生活や産業の場として必要不可欠なものであること、人の手が加わりつくられてきたものであることに気づいてもらうことをねらいとする。教材は、毎日目に触れることができるよう、教室の壁にかけるカレンダーとして作成する。

対 象：阿蘇郡内の小学4年生～中学3年生(掲示は小学1年生～中学3年生までの全学年)

内 容：2ヶ月を1枚とし、表紙を含め全7枚のカレンダー

阿蘇に住む子供たちに草原を知ってもらうために…

“先生のための草原ハンドブック”

子供たちがカレンダーを見て興味をもったことについて解説したり、先生が「子どもたちに阿蘇の草原をテーマに教えてみよう」と思えるようにする手引き例やその解説を紹介したハンドブックとする。

対 象：阿蘇郡内の小中学校で教鞭をとる教師

内 容：カラー、A 4 サイズ、60 頁

阿蘇に来る前に阿蘇を学びたい人たちのために… “修学旅行生向けパンフレット”

修学旅行生が草原を含め、阿蘇の概要を把握し、阿蘇に行ったら、草原に行ってみたい！草原の を調べてみたい！など阿蘇での楽しみ方のイメージを膨らませてもらえるようなパンフレットとする。

対 象：小学高学年～中学 3 年生

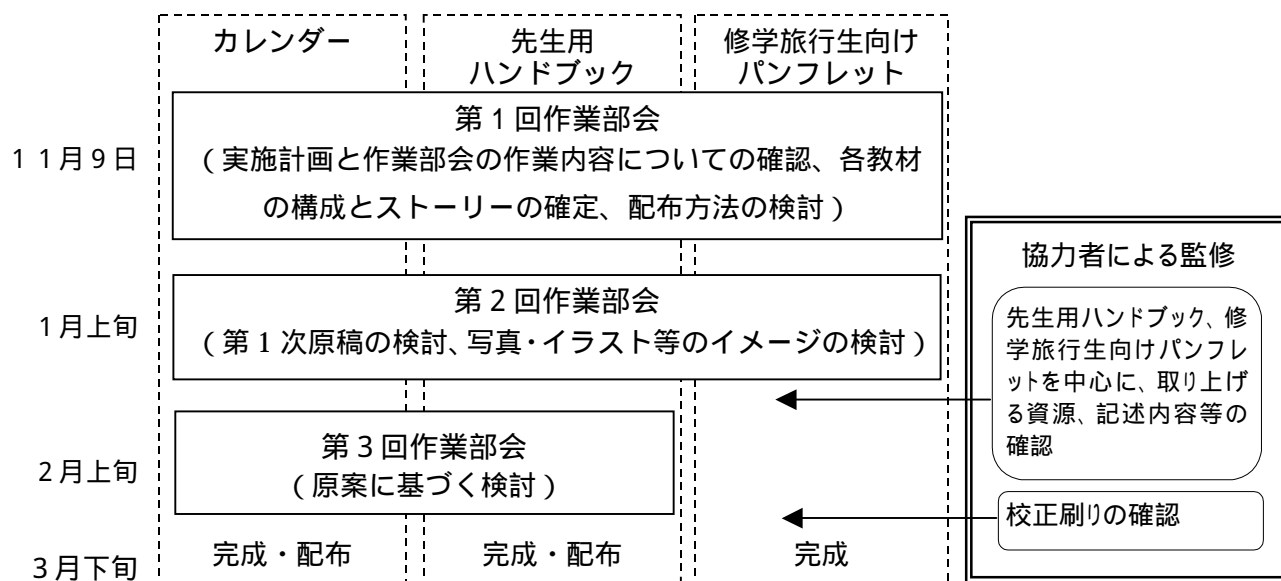
内 容：カラー、A 5 サイズ、24 頁

3. 作業の体制

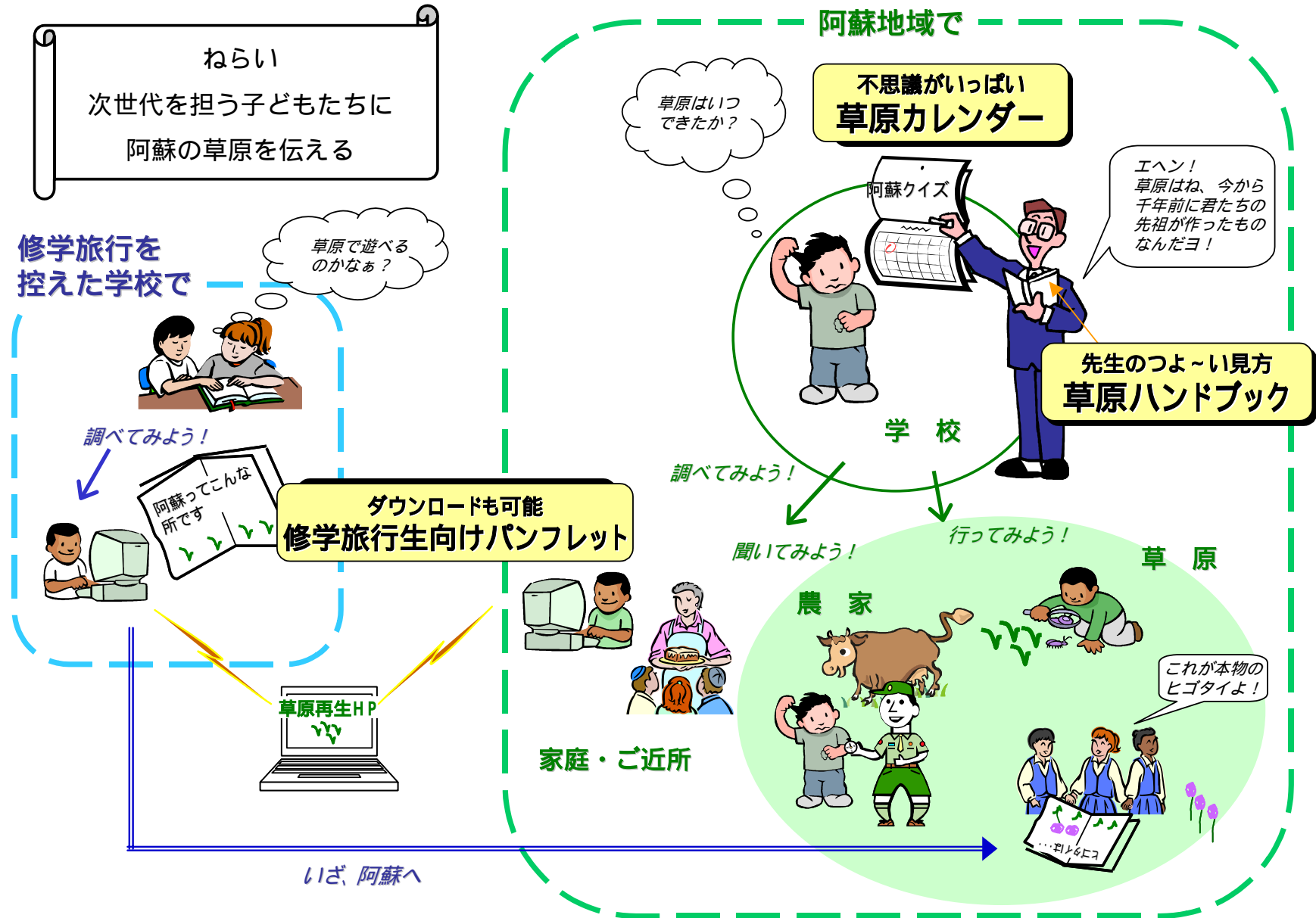
教育関係者等をメンバーとする作業部会により検討を進める（別紙参照）。

4. スケジュール（予定）

カレンダー、先生用ハンドブックは、平成 17 年 3 月末までに完成・配布する。修学旅行生向けパンフレットは 3 月末までに完成させる。



環境教育教材の展開イメージ



(別紙)

阿蘇の草原をテーマにした環境教育用教材づくり作業部会の設置の目的と作業概要

1. 設置の目的

阿蘇に住む子供たち、また彼らを教育する先生に阿蘇の草原を知ってもらい指導につなげてもらうための教材と、阿蘇に目的をもって訪れる特に修学旅行生たちへのよりよい情報提供のためのパンフレットづくりを進めるため、教育関係者など教材の利用者となりうる立場の方を中心メンバーとした作業部会を設置する。

2. 作業部会の役割と作業内容

以下の教材の制作過程に開催するもので、事務局が作った案について、取り上げるテーマや資源、また、教材を利用する立場から、読みやすさ、使いやすさ、伝えやすさについて意見を出し合う場とする。

3. 作業部会の構成メンバー

教育現場に携わる(携わっていた)立場から郡内の学校教育・社会教育関係者、阿蘇を発信する立場から地元観光・交流施設関係者の参加により構成する。

この他、記述内容、写真等の監修については、地元有識者の方々にご協力をお願いする予定。

作業部会メンバー

(作業部会員)

梶原宏之	阿蘇たにびと博物館学芸員
後藤秀徳	休暇村南阿蘇施設課長
島田美里	元野外教育研究所 I O E 職員
田上義明	白水村教育委員会 社会教育係主事
春木 恵	高森町立高森中学校教諭

(事務局)

環境省九州地区自然保護事務所
株式会社メッツ研究所(業務請負先)

監修協力者

大滝典雄氏 / 元阿蘇地区国立公園パークボランティアの会会長・・・全体を通して
瀬井純雄氏 / 白水村中松小学校教頭・・・植物を中心に
高橋佳也氏 / 阿蘇自然案内人協会会長・・・解説方法などを中心に全般を
湯浅陸雄氏 / 阿蘇町ホテルの会会長・・・歴史・文化を中心に